

澤田無松 （まはた） 新聞記者、小説家。明治四年五月一日京都生れ、昭和二年四月十一日没（二七二―九二七）。本名忠次郎。別號結蘭居士。明治法律學校卒。『コトバ新報』、『國民新聞』、『讀實新聞』等々主筆。法廷記者を務め、多く犯罪實話物を執筆。梅原北明編『文藝市場・第二卷第四號』（昭和）一年八月一日文藝市場社）の「故澤田無松氏追悼」がある。



著書、男三郎自筆『獄中之告白』（編、明治二十九年九月二十五日獨歩社）「法廷叢書」）、『變態刑罰史』（大正十五年七月二十日文藝資料研究會「變態十史」）等。

